

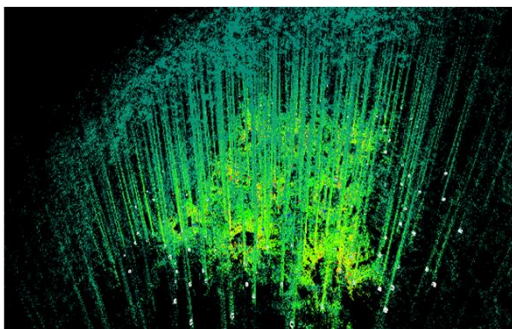
# 令和8年度 愛媛森林管理署の重点施策

令和8年4月  
愛媛森林管理署

# 1 施業効率化に向けた取組 (林業のデジタル化)

- 森林資源量の調査の効率化に向けて、地上型3Dレーザースキャナを活用した立木調査を実施します。
- 治山事業ではドローンや地上型レーザースキャナを用いて、3次元データを作成し、起工測量や出来型管理を行い、MG (建設機械と目的地 (設計データ) の位置関係をモニター上に表示することで、オペレーターを案内するシステム) バックホウを使用することにより丁張 (建築や土木工事に於いて、正確な位置や高さを確保するために設置される仮設の目印) 等の手間を軽減させます。
- ドローンは、管内で7台保有しており、民有林との境界の管理、森林整備事業における進捗状況の確認、災害発生時の現地調査、獣害防止柵の巡視など、様々な場面で活用しています。

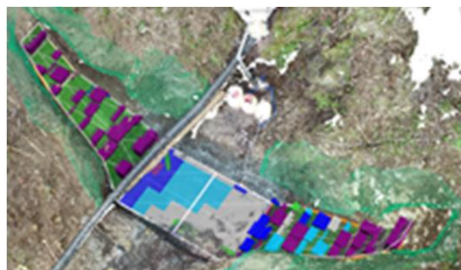
## 地上型3Dレーザースキャナ等を用いた調査や施工



地上型3Dレーザースキャナによる  
森林資源量調査



MGバックホウによる施工



3次元出来形管理 (段階確認)



## ドローンを活用した各種業務



民有林との境界確認

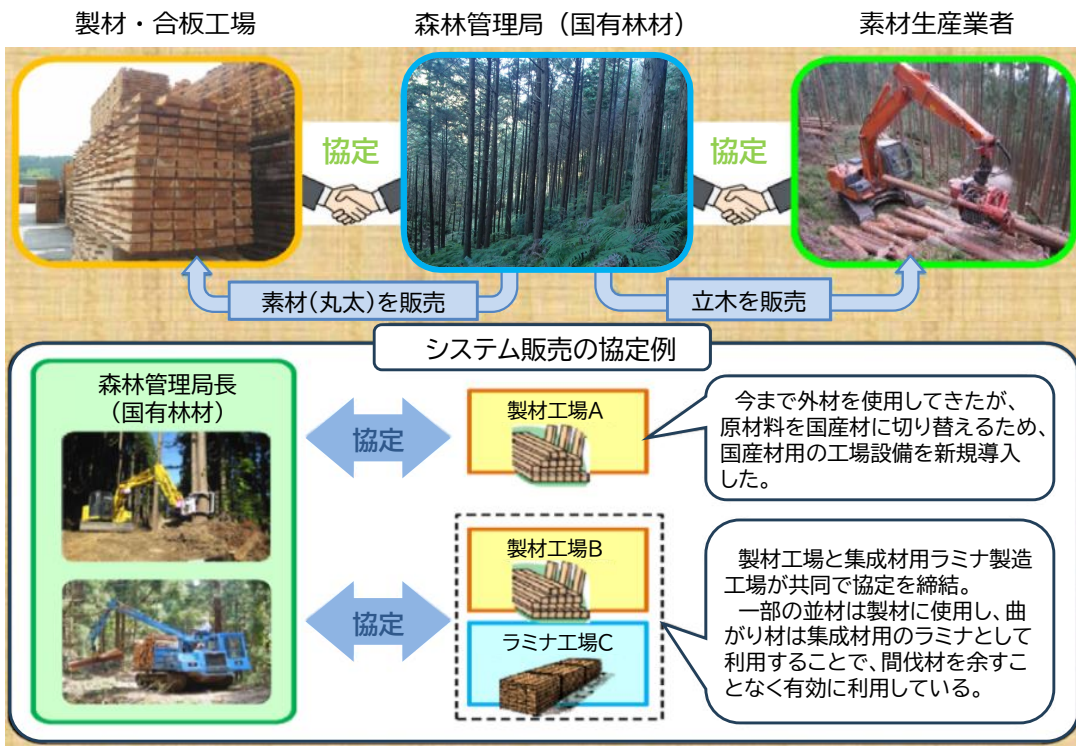


下刈り箇所の確認

## 2 地域に貢献する国有林 (木材の安定供給)

○ 地域の需要を踏まえつつ、計画的に木材を生産し、国産材の安定的な供給に取り組みます。

### (1) 安定供給システムによる木材の販売



※システム販売の対象は、素材(丸太)と立木。協定の相手方は、製材工場、木材加工業者、原木市場、素材生産業者等

※立木のシステム販売は、複数年(3年以内)の協定、搬出期間は売買契約から原則3年以内 (単位:千m<sup>3</sup>)

愛媛署の供給量	R 5 (実績)	R 6 (実績)	R 7 (実績)	R 8 (予定)
供給総量	55.5	54.0	49.2	62.0
素材販売	52.7	47.0	49.0	52.6
うちシステム販売	25.8	26.8	28.5	32.2
うち複数年契約	8.6	3.0	9.3	10.2
立木販売 (立木材積)	2.8	7.0	0.2	61.8

### (2) 民有林と国有林による木材の安定供給

民有林と国有林が連携して、路網整備や間伐等の森林施業を進める「森林共同施業団地」を鬼北町奈良地区に設定しています。

森林施業の集約化を行い、林道や作業道を所有区分にかかわらず利用することで、搬出が容易になり、木材市場までの運搬コストが削減されるなどの低コスト化・効率化が期待されます。



鬼北町奈良地区森林整備推進協定位置図

### (3) 複数年契約事業

林業事業体の経営や雇用の安定及び効率的な事業実施に資するため、複数年にわたる事業の発注を推進しています。

事業年度	所在地	国有林名	面積	予定数量
令和8~10年度 (3か年)	上浮穴郡 久万高原町	黒滝山75	77ha	8,800m <sup>3</sup>
	北宇和郡松野町	久米治奥山2075	92ha	9,500m <sup>3</sup>
以下、既事業実行中の箇所				
令和7~9年度 (3か年)	上浮穴郡 久万高原町	河ノ子山1	48ha	3,300m <sup>3</sup>
	南宇和郡愛南町	大久保山3084	78ha	10,000m <sup>3</sup>

## 2 地域に貢献する国有林(森林整備・治山対策等の計画的な実施、安全・安心な暮らしの実現)

- 森林整備事業・治山事業の着実な実施により、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、木材をはじめとする林産物の供給等といった、森林の有する多面的機能の充実を図っています。
- 保安林の適切な管理、山地災害等の発生時の迅速かつ適切な対応等の取組を通じて、地域の安全・安心な暮らしの実現に貢献します。

### (1) 森林整備・路網整備

森林の持つ多面的機能を持続的に発揮していくためには、**植栽、保育、間伐等の森林整備を適切に行う**必要があります。また、森林施業や木材等の輸送を効率的に実施するための路網整備を進めていくことも必要です。

愛媛森林管理署は、**間伐や主伐後の再造林等、計画的な森林整備の実施**と、地形に沿って道をつけるなど**丈夫で簡易な道づくり**に取り組んでいます。また、災害に強い林道の整備や、既設林道の改良（災害復旧）により、**路網の強靱化・長寿命化**に取り組んでいます。



保育間伐（活用型）



林道改良（災害復旧）

### (2) 治山対策

大雨や短時間強雨の増加により、激甚化、多発化している自然災害から地域の安全・安心を確保するため、**国有林内で治山施設を整備し、土砂流出の抑止や森林の保水機能の発揮を図っています**。

令和7年3月に今治市及び西条市で発生した林野火災については、今後、現地調査の結果や有識者からの意見を踏まえ策定される、森林復旧計画をもとに必要な対策を講じます。



林野火災跡地と谷止工

### (3) 災害発生時の迅速な対応

林道災害調査においては、**LiDAR※センサ機能を搭載した測量機器を使用**することで、大幅な効率化を図ります。土砂・土石・流木の流出により、公共施設等に被害を与えるおそれがある場合には、**災害関連緊急事業等**を実施し、地域の安全・安心の確保に早急に取り組めます。

また、山地災害初動時の情報共有の円滑化を目指し、**地元自治体との「ドローンを活用した災害連携協定」に基づく勉強会や情報収集訓練等※**を実施します。

※ 西条市、久万高原町、松野町と締結。R7は西条市で実施。

林野火災に関して、平時からの情報収集や連絡体制の整備、市町村が発令する「林野火災注意報・林野火災警報」等の制度周知やその他の広報・啓発など、**林野火災の防止**に努めるとともに、発生時の被害状況把握や関係機関と連携した対応を行います。

※レーザー光の照射により距離や形を測定する技術



災害時情報収集訓練



愛媛署の事業量	R5（実績）	R6（実績）	R7（実績）	R8（予定）
森林整備（間伐）	489ha	576ha	505ha	540ha
森林整備（林道）	1件	—	2件	4件
うち新設	—	—	1件 国債1	—
うち改良（災害復旧）	1件 明許1	—	1件 明許1	4件 事故1 明許1 経常2
治山対策	3件 明許3	—	3件 翌債2 経常1	4件 翌債2 経常2

## 2 地域に貢献する国有林（地域の人材育成への取組、「国民の森林」としての管理経営）

- 研修の実施や現地検討会の開催等により、地域の森林・林業を担う人材の育成に取り組みます。
- 開かれた「国民の森林」としての管理経営や国民視点に立った行政を一層推進するため、森林環境教育の実施や、広く国民の皆様のご意見を聞くように努めています。

### (1) 将来の森林・林業を担う人材の育成

南予森林アカデミーに対し、国有林のフィールドを研修の場として提供し、国有林職員の講師としての派遣、作業実習への協力等により支援を行います。

このほか、愛媛大学のインターンシップ受入れや、地域の森林・林業関連行事において子供たちをはじめとする参加者に木工教室等を開催することにより森林・林業への関心が高まる取組を実施します。



南予森林アカデミー令和7年度開講式



実技研修（ドローン操作演習）



愛媛大学インターンシップ（治山現場実習）



久万林業まつり（木工教室）

### (2) 現地検討会の開催による技術普及

当署職員のみならず、林業事業者の育成や、森林経営管理制度への対応等役割が大きくなっている市町村林務担当者のスキルアップに向け、現地検討会を開催し、技術の普及に取り組みます。今年度は、11月頃に保持林業に係る現地検討会の開催を予定しています。



学識経験者や地方自治体職員を交えた保持林業に係る現地調査（R8.3）

### (3) 「国民の森林」としての管理経営の推進

県内の国有林野等が所在する首長と森林管理署長が構成員となっている「愛媛国有林野等所在市町長有志協議会」を毎年開催し、国有林の管理経営について、自治体の貴重なご意見を聞くように努めています。



代表世話人挨拶（久万高原町長）



市町に加え県及び局関係者も出席

### 3 公益重視の管理経営の一層の推進（生物多様性の保全、獣害対策の推進）

- 世界的に求められている生物多様性の保全の取組として、保護林や緑の回廊の保護・管理のほか、森林施業においても多様な森林づくりの推進や人工林の伐採時に天然木を保残することなどを実施しています。
- 深刻化するシカ被害に対応するために、植え付け後の防護柵等に加え、囲いわなによる捕獲を実施しています。

#### (1) 保護林・緑の回廊

保護林では、定期的なモニタリングにより森林生態系や野生生物等の状況変化を把握し、順応的な保護・管理を行っています。

緑の回廊においても、定期的なモニタリングにより野生生物の生息・生育状況を把握し、順応的な保全・管理を行っています。



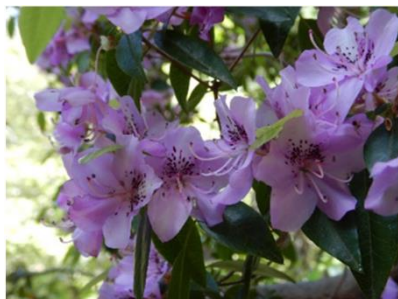
石鎚山系森林生態系保護地域



四国山地緑の回廊

#### (2) 生物多様性の保全の取組

宇和島市津島町の国有林を含む山中のみ自生するトキワバイカツツジの保全や環境整備、人工林の伐採時（小田深山55誘導伐）に天然木を保残する保持林業に取り組みます。



トキワバイカツツジ



広葉樹等の天然木保残（ヨラキレ87）

#### (3) シカをはじめとする獣害対策

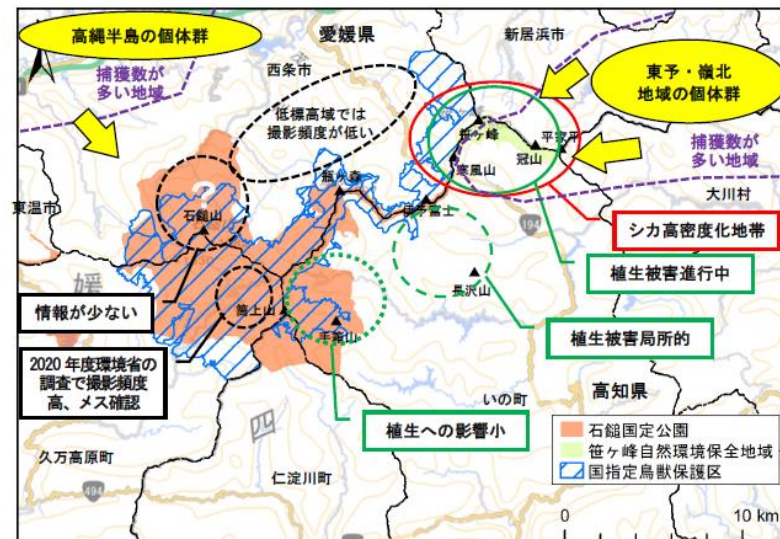
県内では民有林も含めシカによる被害が年々拡大しており、生息数が多い南予地域に加え、石鎚山系（東予及び中予）でもシカ被害が多発傾向にあり、委託事業により「囲いわな」による捕獲に取り組みます。

また、南予地域では民間企業との協定に基づく捕獲を実施し、シカ被害対策に取り組みます。



「囲いわな」とニホンジカ

捕獲実績	R5	R6	R7	R8 (予定)
東予地域	—	—	4	10
中予地域	3	6	6	10
南予地域	23	22	34	20



石鎚山系におけるシカの被害状況

（「石鎚山系における生物多様性保全計画」（2022年4月、高知県）より引用）